学校番号	１００７

令和３年度　体育科

教科	体育	科目	スポーツⅡ	単位数	２単位	年次	２年次
講座名	スポーツⅡ						
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・各種スポーツの特性とルールを理解し、自主的に練習や試合ができるようになろう。
・安全のための知識を身に付けよう。
・習得した力に応じて新たな作戦やルールを工夫して、試合ができるようになろう。

2　学習の到達目標

マナーやルールを守り、安全に楽しくいろいろなスポーツを行い、生涯にわたって継続的に運動に親しむ資質や能力を育て、各種目の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	各種目の学習に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとする。互いに共感し、高め合おうとしている。	知識を活用し、技術向上につなげている。学習で得た成果を自ら応用・発展させ、他の運動や実生活に生かせる。自己の課題を解決するとともに、生涯を通してｽﾎﾟｰﾂにかかわることができるよう、課題の設定や活動の評価、目標の修正などができる。	運動の合理的な行い方が身についている。 記録や技能向上に挑戦している。 各種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したりできる。	技術や競争における作戦、技、技能の高め方、合理的な練習方法や体力の高め方、審判法や競技会などの運営の仕方、運動の観察や動作分析の仕方などを理解している。
評価方法	・出席状況 ・平常態度 ・レポート 等	・レポート ・自己の運動を分析し、技術向上へつなげているか 等	・技能観察 等	・レポート 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1ターム	ラグビー	タグラグビー ・パス、ランパスなどの基本技術の習得 ・スキルテスト ・安全への注意 ・ゲームのやり方、ルールの説明 ・ゲームの自主運営能力の育成	○	○	○	○	a: 仲間とともに協力しながら活動し、ラグビーの楽しさや喜びを味わおうとしている。 b:自分や仲間の実情に応じた課題をみつけている。 c:安定したボールコントロールができている。 d:サッカーの特性や学び方、技術の構造などを理解している。	・受講態度の観察 ・レポート ・技能観察
2ターム	ハンドボール	ハンドボール ・パス、ドリブル、シュートなどの基本技術の習得 ・スキルテスト ・ゲームのやり方、ルールの説明 ・ゲームの自主運営能力の育成	○	○	○	○	a:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとすること、自己責任を果たそうとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすることなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:自分や仲間の実情に応じた課題をみつけている。 c:球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	・受講態度の観察 ・レポート ・技能観察

3ターム	バレーボール	バレーボール ・準備物の説明 ・基本技術の習得 ・ルール解説・ゲームの進め方の説明・ゲームの自主運営の育成 ・パス、サーブ、アタックなどの基本技術の復習 ・ローインパクトボールゲームへの自主運営能力の育成	○	○	○	○	a:バレーボールの特性やゲームに関心を持ち、仲間と互いに協力し、教えあいながら積極的に練習やゲームに取り組んでいる。 b:練習やゲームを通して自己の課題の解決を図ろうとしている。 c:安定したボール操作及び、状況に応じたボール操作、動きを行うことが出来ている。 d:ルールを理解し、適切にゲーム運営ができている。	・受講態度の観察 ・レポート ・技能観察
4ターム	バドミントン	バドミントン ・ストローク、スマッシュ、サーブなどの基本技術の習得 ・ゲームのやり方、ルールの説明 ・ゲームの自主運営能力の育成	○	○	○	○	a:仲間とともに協力しながら活動し、バドミントンの楽しさや喜びを味わおうとしている。 b:自己に応じた課題をみつけている。 c:安定したラケット操作ができている。 d:各種目の特性や学び方、技術の構造などを理解している。	・受講態度の観察 ・レポート ・技能観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。